



## 2020年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年1月10日

上場会社名 株式会社スーパーバリュー 上場取引所 東  
 コード番号 3094 URL http://www.supervalue.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 岸本 圭司  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員 (氏名) 中谷 圭一 TEL 048-778-3222  
 四半期報告書提出予定日 2020年1月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年2月期第3四半期の業績 (2019年3月1日～2019年11月30日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第3四半期	57,141	0.9	△1,020	—	△948	—	△958	—
2019年2月期第3四半期	56,632	3.8	△646	—	△559	—	△1,118	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第3四半期	△151.30	—
2019年2月期第3四半期	△176.64	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年2月期第3四半期	30,202	3,989	13.2	628.69
2019年2月期	25,727	5,068	19.7	799.04

(参考) 自己資本 2020年2月期第3四半期 3,981百万円 2019年2月期 5,059百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期	—	0.00	—	19.00	19.00
2020年2月期	—	0.00	—	—	—
2020年2月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

### 3. 2020年2月期の業績予想 (2019年3月1日～2020年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	77,086	1.6	△982	—	△890	—	△906	—	△143.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

業績予想の修正については、本日(2020年1月10日)公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年2月期3Q	6,334,200株	2019年2月期	6,333,300株
② 期末自己株式数	2020年2月期3Q	759株	2019年2月期	759株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年2月期3Q	6,333,153株	2019年2月期3Q	6,332,541株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についての注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たったの注意事項については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

なお、当社では、子会社の資産、売上高、損益、利益剰余金及びキャッシュ・フローその他の項目から見て、当企業集団の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に関する合理的な判断を妨げない程度に重要性が乏しいものとして、四半期連結財務諸表は作成しておりません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
第3四半期累計期間 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5
(セグメント情報) .....	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間（2019年3月1日から2019年11月30日まで）におけるわが国経済は、輸出の低迷に加え、先行き不透明感から設備投資意欲は減退すると予想され、人手不足や原材料高などが招くコスト負担も引き続き悪材料となり、国内景気は後退局面入りしたとみられております。また、米中貿易摩擦や日韓関係、世界的な金融緩和政策が及ぼす影響もあり依然として不透明な状況が続いております。

小売業界におきましては、深刻化する人手不足と人件費の上昇がますます大きな課題となり、さらに物流コストや商品原価の値上げ等コストも増加傾向にある中、台風災害等や消費税率引き上げで小幅ながら駆け込み需要がありました。消費税率引き上げ後は更に、食品や日用消耗品を中心に消費者の低価格志向・節約志向は依然として根強く、業態を超えた企業間の競争は激しさを増し、厳しい経営環境が続きました。

このような環境の中、当社では、まずお客様の支持を取り戻すことを最優先に、お客様に「安さ」をアピールする価格設定を徹底し、客数回復に取り組んでまいりました。4月の低温、7月の低温・長雨や9月以降の台風・長雨などの天候影響、また消費税率引き上げによる影響もありましたが、当第3四半期累計期間における既存店の客数は前年同期比101.0%と回復の手ごたえは得ております。

売上高については、低価格販売により客単価が前年の水準には届かなかったこと、また3月に入替えを行なった新基幹システムの不具合により、自動発注システムが適切に運用せず、欠品等によるチャンスロスが発生したこと、また天候不順の影響もあり、既存店売上高は前年同期比99.5%となりました。

利益面では、低価格販売を推進したことのほか、新基幹システムの不具合により、日々の粗利確認ができず、即時適切な対策が取れずに粗利管理が不十分な状態が続きました。6月中旬以降はその不具合も解消し、日々の粗利を確認しながら速やかな対策を実行しておりますが、正常化に至るまでには期間を要することもあり、売上総利益率は第2四半期累計期間と同率の20.7%となりました。なお、生鮮を中心に利益改善をした結果、11月単月の売上総利益率は22.2%となりました。一方、新基幹システムの新たな不具合は随時改修を進めております。

経費面では、継続的な新卒採用等に伴う従業員数の増加及び全体的な賃金の上昇、前期新店2店舗に関わる各種経費の増加、新店の開店一時経費1億9百万円の発生など増加要因はありましたが、精肉・鮮魚の小型加工センター稼働による生産性の向上や徹底した経費の節減により、販売費及び一般管理費は前年同期比100.1%で推移いたしました。

店舗展開におきましては、2019年7月11日に食品スーパー店舗の世田谷松原店（東京都世田谷区）、同年9月4日に食品スーパー・ホームセンター複合大型店の松戸五香店（千葉県松戸市）を新規出店し、当第3四半期会計期間末の店舗数は35店舗となりました。

以上の結果、売上高は571億41百万円（前年同期比0.9%増）、営業損失は10億20百万円（前年同期は営業損失6億46百万円）、経常損失は9億48百万円（前年同期は経常損失5億59百万円）、四半期純損失は9億58百万円（前年同期は四半期純損失11億18百万円）となりました。

なお、当社の事業セグメントは、流通販売事業並びにこれらの付帯業務の単一セグメントであります。事業部門別の売上高は、SM事業458億91百万円及びHC事業112億49百万円です。

### (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は前事業年度末に比べ44億75百万円増加（17.4%）し、302億2百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金並びに新規出店等に伴う有形固定資産の増加によるものであります。

#### (負債)

負債は、前事業年度末に比べ55億53百万円増加（26.9%）し、262億12百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の増加並びに長短借入金純増によるものであります。

#### (純資産)

純資産は、前事業年度末に比べ10億78百万円減少（△21.3%）し、39億89百万円となりました。この主な要因は、四半期純損失の9億58百万円及び第23期期末配当金の1億20百万円によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期（2020年2月期）の業績予想につきましては、2019年4月12日に公表しました通期業績予想に対し、当第3四半期累計期間において、販売費及び一般管理費はほぼ計画どおりに推移しておりますが、新基システムの不具合による営業政策及び店舗オペレーションの遅れなどの理由から、業績予想を下回ることから本日修正いたしました。

詳細につきましては、本日（2020年1月10日）公表いたしました「通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2019年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,148,951	4,402,039
売掛金	445,083	702,820
商品	3,705,697	4,256,867
貯蔵品	16,941	15,097
その他	569,510	685,471
流動資産合計	5,886,185	10,062,297
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	7,966,047	8,355,024
土地	5,407,855	5,407,855
その他(純額)	1,830,440	1,743,082
有形固定資産合計	15,204,343	15,505,962
無形固定資産	452,621	429,085
投資その他の資産		
差入保証金	3,588,161	3,636,246
前払年金費用	249,886	271,744
その他	352,105	303,073
貸倒引当金	△5,877	△5,877
投資その他の資産合計	4,184,275	4,205,186
固定資産合計	19,841,240	20,140,234
資産合計	25,727,426	30,202,532
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,184,525	9,588,549
短期借入金	3,948,470	4,993,520
未払法人税等	65,939	30,847
賞与引当金	172,000	41,240
ポイント引当金	196,115	249,031
資産除去債務	22,400	—
その他	1,751,757	2,400,838
流動負債合計	11,341,207	17,304,027
固定負債		
長期借入金	7,085,070	6,631,600
資産除去債務	999,095	1,009,827
退職給付引当金	198,654	201,929
その他	1,034,906	1,065,209
固定負債合計	9,317,726	8,908,566
負債合計	20,658,933	26,212,593
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	374,011	374,353
資本剰余金	282,873	282,873
利益剰余金	4,403,412	3,324,857
自己株式	△332	△332
株主資本合計	5,059,965	3,981,752
新株予約権	8,527	8,186
純資産合計	5,068,492	3,989,938
負債純資産合計	25,727,426	30,202,532

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)
売上高	56,632,110	57,141,442
売上原価	44,425,790	45,304,792
売上総利益	12,206,319	11,836,649
営業収入	258,093	266,961
営業総利益	12,464,412	12,103,611
販売費及び一般管理費	13,111,157	13,124,328
営業損失(△)	△646,744	△1,020,716
営業外収益		
受取利息	16,854	15,536
受取手数料	97,017	75,146
その他	34,871	44,887
営業外収益合計	148,744	135,569
営業外費用		
支払利息	57,871	60,972
その他	3,763	2,200
営業外費用合計	61,634	63,173
経常損失(△)	△559,634	△948,319
特別損失		
減損損失	26,412	—
特別損失合計	26,412	—
税引前四半期純損失(△)	△586,047	△948,319
法人税、住民税及び事業税	46,745	7,679
法人税等調整額	485,812	2,238
法人税等合計	532,557	9,917
四半期純損失(△)	△1,118,605	△958,237

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期累計期間(自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)

当社の事業は、流通販売事業並びにこれらの付帯業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)

当社の事業は、流通販売事業並びにこれらの付帯業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。